

第三次中津川市子ども読書活動推進計画

中津川市

令和5年12月

目 次

はじめに	2
Ⅰ. 基本的な考え方	3
1. 計画の位置づけ	
2. 基本的な考え方	
3. 計画の体系図	
4. 計画の期間	
Ⅱ. 施策の方向性と主な取り組み	4
1. 家庭、地域、学校における読書活動の推進	
(1) 家庭における読書活動の推進	
(2) 地域における読書活動の推進	5
①市立図書館・公民館図書室	
②児童館等公共施設	6
③障がいのある子どもへの取り組み	
④外国語を母語とする子どもへの取り組み	
(3) 学校における読書活動の推進	7
①幼稚園・保育園・こども園	
②小学校・中学校	
③高等学校	9
2. 各種団体との協力による読書活動の推進	10
(1) 団体との協力	
①子育て支援団体・図書館関係団体	
②企業・関係団体等	
③行政関係機関	
子どもの読書活動に関するアンケートの結果	11
◎児童、生徒の回答	
◎保護者の回答	21

はじめに

幼少期における本とのかかわりは、感性の育成や知識の習得など、その後の成長過程において大きな影響を与えます。

以降、小学校、中学校、高等学校とそれぞれの成長段階においても、様々な場面で読書活動は重要な役割を担っています。

また、社会人となってからも自己啓発やビジネス、趣味など生涯にわたり読書活動は私達の生活に欠かせないものです。

子ども達を取り巻く環境も、情報化社会の進展やインターネットなどの情報通信技術の発展により、次々と新たな機器が開発され、本や活字を取り巻く環境も大きく変わっています。

学校ではGIGAスクール構想により、授業にタブレットやパソコンが導入され、スマートフォンや携帯通信型ゲーム機の所有者の低年齢化も進んでおり、ますます活字離れが懸念される状況にあります。

それら子ども達を取り巻く環境や状況の変化によって、映像から得られる表面的な情報が主となり「本を読む」ことから得られる想像力や表現力などの成長不足が懸念されます。

市では平成24年度に「中津川市子ども読書活動推進計画」、令和元年に「第二次中津川市子ども読書活動推進計画」を策定し、各種取り組み等を通じて子どもの読書活動を推進してきました。

第三次計画では第二次計画までの取り組みによる成果や課題を踏まえ、子ども達により多くの本と出会い、読書を楽しめるよう本計画を策定します。

令和5年7月15日に「中津川市ひと・まちテラス」の開館とともに図書館も新たに開館し、子ども向けフロアの増床やおはなしコーナーの新設、閲覧席の充実など子ども達が楽しみながらゆったりと過ごせる空間づくりを推進し、同テラス内の子育て支援施設との連携も踏まえ、中心市街地の活性化のみならず市内全域の活性化を目指し、企画運営をすることが求められています。

なお、本計画における成果指標は中津川市総合計画後期事業実施計画の指標である「市民一人あたりの年間図書貸出冊数（令和8年度 4.5冊）」をもってはかるものとします。

上記に加え、絵本と紙しばいを含む「中央館の児童書貸出冊数」を本計画の新たな指標とします。

【実績】

中央館の児童書貸出冊数（冊）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	167,256	111,958	144,533	146,405

【目標】

中央館の児童書貸出冊数（冊）	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	153,725	161,411	169,482	177,956

I. 基本的な考え方

1. 計画の位置づけ

本計画は国が定めた「子どもの読書活動の推進に関する法律」で市の計画策定が要請されており、中津川市では第一次、第二次計画を策定しています。

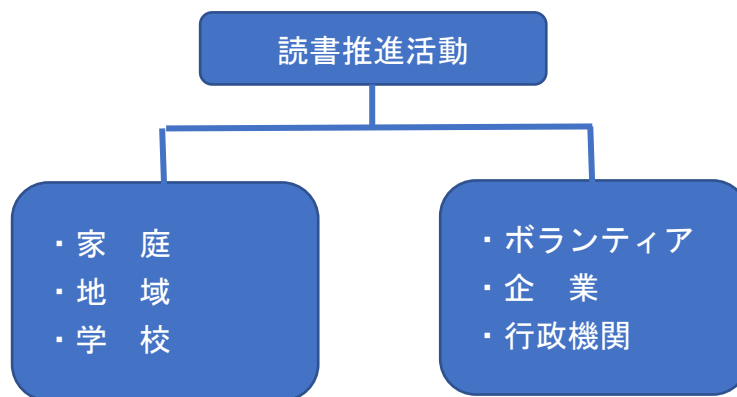
いずれの計画も「中津川市総合計画基本構想」と「中津川市教育大綱」との整合を図っており、第三次計画でも整合を図りながら策定します。

2. 基本的な考え方

本計画では、第二次計画と同様、第一次計画の基本方針を踏襲しつつ、新たに担う「にぎわいの創出」という役割を織り交ぜながら、新たな図書館像を描いていきます。

3. 計画の体系図

第二次計画をベースに、市立図書館が主に読書推進活動を仕掛けていく「家庭、地域、学校」、各団体や個人との協力や活動支援をしていく「ボランティア、企業、行政機関」でまとめ、新たな図書館整備を踏まえた体系としました。



4. 計画の期間

本計画の期間は、「中津川市総合計画」及び「中津川市教育振興基本計画」の後期実施計画期間を踏まえ、令和5年度から令和8年度までとします。

なお、社会情勢、子どもを取り巻く読書環境の変化などに柔軟に対応していくために、必要に応じて計画の見直しを行っていきます。

Ⅱ. 施策の方向性と主な取り組み

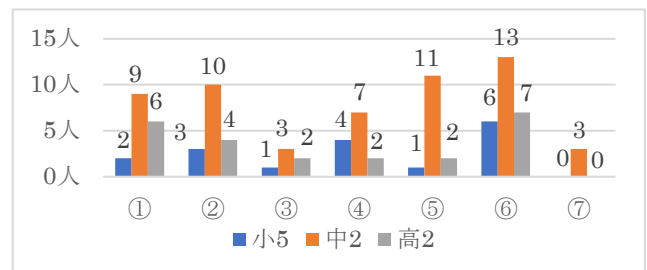
1. 家庭、地域、学校における読書活動の推進

(1) 家庭における読書活動の推進

- ・おなかの中にいる赤ちゃんに対する読み聞かせは母親自身のリラックスや赤ちゃんへの愛情の醸成につながります。
- ・継続的な読書習慣が身につくよう3カ月健診時に読み聞かせの大切さについて紹介し、家族で本を楽しむような環境づくりを進めていきます。
- ・第二次計画策定時から子どもを取り巻く生活環境は激変し、かつてのテレビへの依存問題はスマートフォンなどによる映像や音楽、通信型ゲームへの依存へと変わっています。
- ・保護者も同様に、スマートフォン依存症に近い状況が社会全体に広がっており、子どもへの働きかけに加え、保護者への働きかけも必要となっています。
- ・本と出会う最初の場が家庭であり、読書習慣の定着に向けた保護者への働きかけが大切です。
- ・特に乳幼児期に多くの本を読み聞かせたり子ども自身が自分で読んだりすることは、識字力はもとより、心の成長や感性の広がりを育みます。
- ・読み聞かせなどを通じた家庭内のコミュニケーションは、保護者からの愛情を感じる場や子を大切に思う場にもなり、円満な家庭づくりにつながります。
- ・図書館では本の紹介方法を工夫し、よりよい本との出会いのきっかけづくりや、読み聞かせのコツなどを伝え、家庭での読書活動の活性化を図ります。

○本を読まない理由

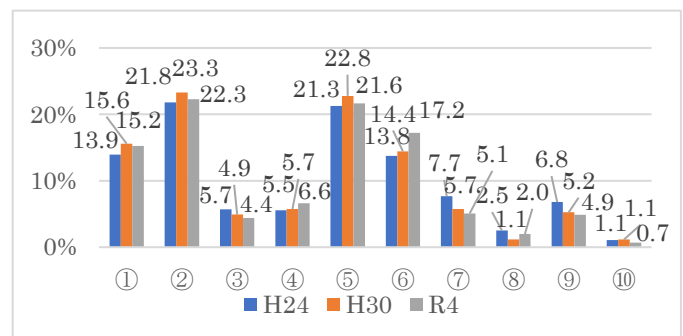
- ①勉強や習いごと、スポーツ活動などが忙しい
- ②テレビを見たりゲームをしていて時間がない
- ③友達と遊んで時間がない
- ④どんな本を読んだらいいのかわからない
- ⑤読みたい本が近くにない
- ⑥本を読みたいと思わない
- ⑦その他



(「子どもの読書活動に関するアンケートの結果」より(令和4年実施))

○読み聞かせをする理由を選んでください(未就園児・幼保のみ)

- ①親子の絆・愛情が深まる
- ②親子で絵本を楽しむ
- ③親子の思い出になる
- ④子どもが落ち着く
- ⑤子どもの感性が育つ
- ⑥言葉の発達に役立つ
- ⑦人の話が聞ける子になる
- ⑧親もリラックスできる
- ⑨親も本に親しめる
- ⑩その他



(「子どもの読書活動に関するアンケートの結果」より(令和4年実施))

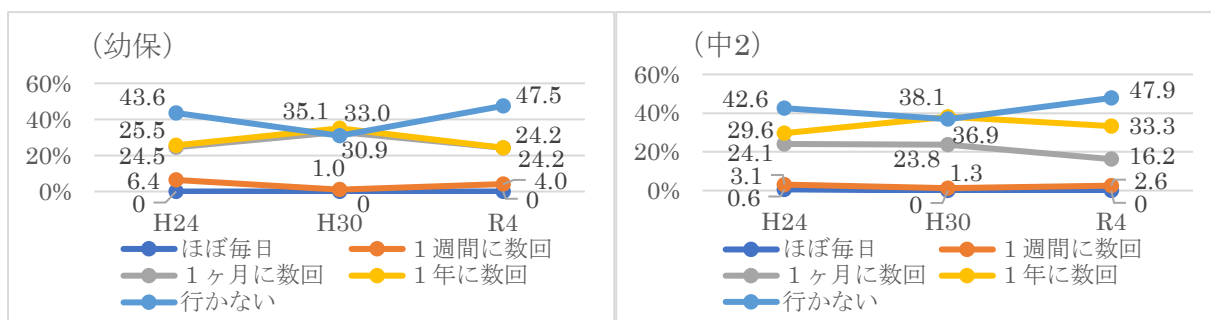
主な取り組み	内 容
絆スタート	3カ月健診時に、受診者家族を対象とした絵本の読み聞かせの大切さや、おすすめ絵本を紹介し、家族の絆づくりを促進します。
コウノトリのおはなし会	毎月第2火曜日に妊婦さんとその家族に向けて、赤ちゃん絵本とのかかわりや、ベビー絵本、育児・子育てについての本を紹介します。
おはなしはらっぱ	毎週水曜日に図書館職員が絵本や紙しばいを読み聞かせするおはなし会です。
イベント時の読み聞かせ会	森林の市の青空図書館での読み聞かせなど、機会をとらえて読み聞かせ会を開催します。
読み聞かせサポーター養成講座	読み聞かせサポーター養成講座を開催し、受講生を読み聞かせサポーターとしておはなし会へ派遣します。

(2) 地域における読書活動の推進

①市立図書館・公民館図書室

- ・子どもの成長に伴い、家庭から各地域にある図書施設や児童館などに活動範囲が広がり、本とのかかわりも広がっていきます。
- ・特に図書館が担う役割は重要で、図書館が所蔵する本を市内全域で活用できる体制や、読書に困難のある子どもに対応した本の整備を推進していく必要があります。
- ・図書館イベントは図書への誘導だけでなく、企画展示による季節感の醸成、四季折々の行事の紹介など、文化の伝承といった役割も担っています。
- ・郷土の偉人や森林・天然石などの地域資源、特産品に関する図書の充実は、子ども達の郷土愛の醸成や地元定着へつなげていくことが期待できます。
- ・新たな図書館では広い空間と閲覧席の拡大によって読書環境が充実し、来館する子どもが増えることが期待でき、中心市街地のにぎわい創出につながります。
- ・おはなしコーナーが新設され、イベントやおはなし会が効果的に開催できるようになり、いつでも本を楽しめる場として活用していきます。
- ・公民館図書室や図書コーナーではボランティアの協力も得ながら、イベントや配本などを通じて読書推進を図っていきます。

○あなたは市立図書館や公民館図書室に行きますか？



(「子どもの読書活動に関するアンケートの結果」より (令和4年実施))

主な取り組み	内 容
月例イベント	図書館へ来てもらうきっかけづくりとして、様々なイベントを毎月1回以上開催します。
企画展示	館内の展示スペースにて、月毎に季節や時の話題などのテーマに沿った図書を展示し、本への興味を持つきっかけづくりをします。
配本サービス	公民館図書室や地域図書コーナーの蔵書のマンネリ化を防ぎ、本への興味を持ってもらうよう定期配本します。

②児童館等公共施設

- ・児童館等公共施設からの求めに応じて配本し、読書を楽しめる環境づくりに努めます。
- ・児童館等公共施設で読み聞かせができるようボランティアを養成します。

主な取り組み	内 容
配本サービス	学童などに対し、蔵書のマンネリ化を防ぎ、本への興味を持ってもらうよう定期配本します。
読み聞かせサポーター 養成講座	読み聞かせサポーター養成講座を開催し、受講生を読み聞かせサポーターとしておはなし会へ派遣します。

③障がいのある子どもへの取り組み

- ・文字の色を変えることができる拡大読書器や音声読上げ機を PR し、利用促進を図ります。
- ・大活字本やL Lブックなど、読書に困難のある子に対応した図書を充実させ、関連施設への配本を継続します。
- ・障がいに関する理解が深まるような本の充実に努めます。

主な取り組み	内 容
広報等による PR	広報なかつがわやホームページで読書バリアフリーに関する情報を PR し、積極的な利用を促進します。
読書に困難のある子に対応した図書の購入	読書に困難のある子に対応した図書などに加え、障がいに関する理解が深まる図書の充実に努めます。
配本サービス	発達支援施設と情報共有をし、施設が求める図書も加えて定期配本を継続します。

④外国語を母語とする子どもへの取り組み

- ・外国語で書かれた図書の充実に努めます。
- ・言葉の理解がなくても楽しめるようイベントを工夫し、来館時に外国語本があることを紹介するなどして本と触れ合う機会を増やします。

主な取り組み	内 容
外国語本の紹介	イベントや展示などを通じて、外国語本の紹介をしていきます。
イベント開催	折り紙や魚（しおり）釣りなど、言葉がわからなくても参加できるイベントを開催します。

(3) 学校における読書活動の推進

①幼稚園・保育園・こども園

- ・各園からの求めに応じて配本し、読書を楽しめる環境づくりに努めます。
- ・園活動や行事に関連した読み聞かせは、活動や行事への取り組みなどを円滑にし、それらへの導入知識の獲得としても有益となります。
- ・家庭での一对一の読み聞かせから集団でのおはなし会となり、単純に絵本を楽しむことの他に、自制心や協調性を学ぶ場にもなります。
- ・その最前線に立つ各園の新規採用職員を対象とした読み聞かせ講座を開催し、読み聞かせのコツや本の選び方などについて学んでもらい、質の向上を図ります。
- ・保護者による家庭での取り組みも重要であり、保護者に対する読み聞かせ講座などを通じ、家庭での読み聞かせの習慣化や質の向上を図ります。

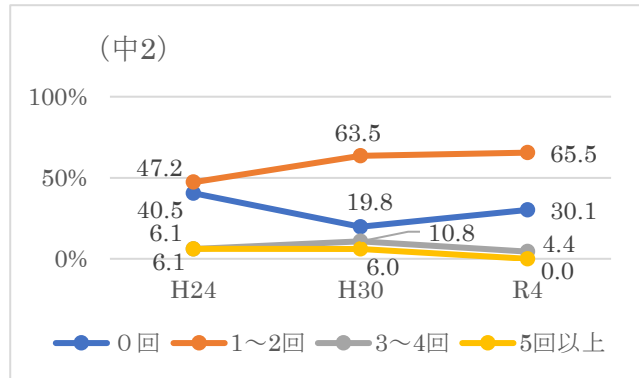
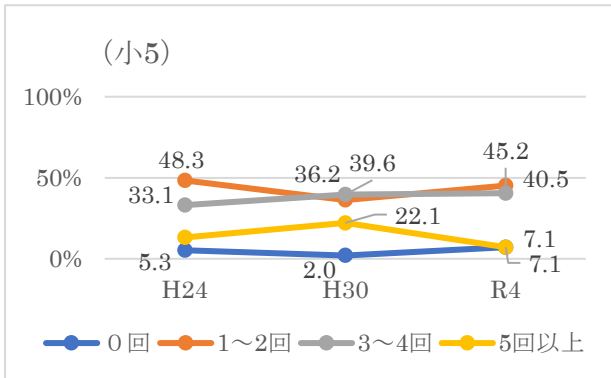
主な取り組み	内 容
園配本	各園の求めに応じた本を定期配本します。
公立園の新規採用職員読み聞かせ研修会	公立園の新規採用職員を対象とした読み聞かせ研修会を開催し、園児への読み聞かせや保護者への働きかけを促進します。
ボランティア団体や個人の活動支援	園からの希望に応じておはなし会の設定などし、円滑な開催を支援します。
読み聞かせ講座	保育士や保護者を対象とした読み聞かせ講座を開催し、園や家庭での読み聞かせの質の向上を図ります。

②小学校・中学校

- ・より大きなコミュニティとなり、学校生活を通じて習得するものの質も量も増大します。
- ・読書習慣の定着は子ども達だけでなく、保護者へのアプローチによる取り組みが不可欠で、学校と家庭が連携した取り組みが求められます。
- ・学校図書室には十分な図書がなく、定期配本や中学校へのテーマ本の配置などにより、図書のマンネリ化を防ぎます。
- ・学校司書との情報交換を密にして今必要な本を把握し、読みたい本をできるだけ配置するよう努めます。
- ・その学年に読んでほしい本の紹介を積極的に行い、多感な年頃の心のケアや進学、就職に向けたヒントとなるような図書の整備に努めます。

- ・しかしながら、学年が上がるにつれて習い事や部（クラブ）活動、受験勉強に割く時間の増加や通信型ゲームの普及により本を読む機会（時間）が減少していくことは避けられず、読書離れを軽減する努力の継続が求められます。
- ・スマートフォン所持の低年齢化が進行し、読書時間の減少も低年齢化が避けられない状況があり、読書時間の確保などの努力が必要となっています。

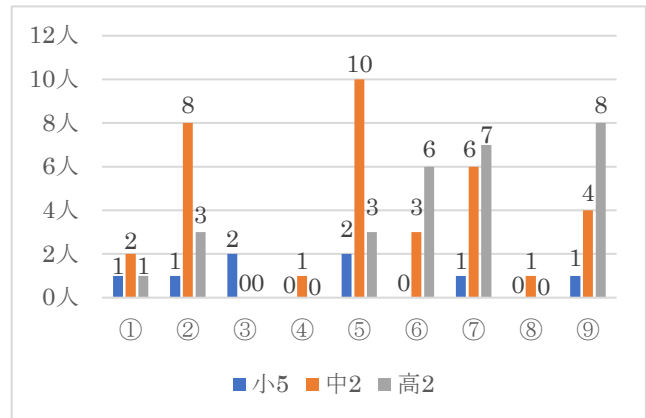
○一週間に何回ぐらい学校図書館に行きますか？



（「子どもの読書活動に関するアンケートの結果」より（令和4年実施））

○学校図書館を利用しない理由

- ①本を読みたくないから
- ②読みたい本がないから
- ③新しい本がないから
- ④どんな本を読んだらいいかわからないから
- ⑤ほかの遊びがしたいから
- ⑥部活動や係の仕事があるから
- ⑦本を借りるのがめんどうだから
- ⑧行きたい時間に図書館が開いていないから
- ⑨その他



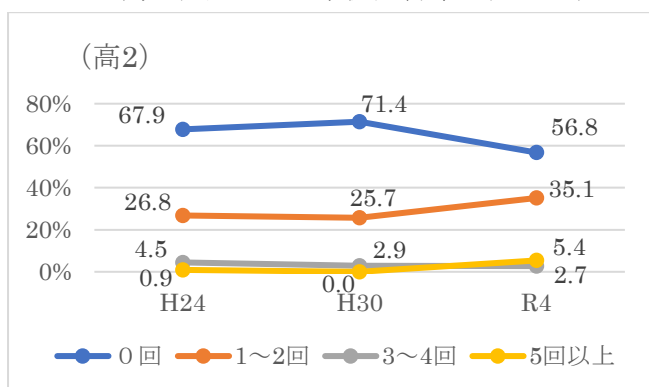
（「子どもの読書活動に関するアンケートの結果」より（令和4年実施））

主な取り組み	内 容
読み聞かせ講座	PTA を対象とした読み聞かせ講座を開催し、学校での読み聞かせの質の向上を図ります。
学校配本	各校の求めに応じた図書や調べもの学習用資料などを配本します。
テーマ本配本	中学校を対象に、司書が推薦する図書をテーマに沿ってまとめ、一定期間学校へ配置できるよう配本します。
学校や生徒・児童が求める図書の把握	学校司書との情報交換の場として学校司書会へ積極的に参加し、子ども達に必要な図書の把握に努めます。

③高等学校

- ・授業や部活動、受験勉強など多忙であることに加え、スマートフォンをはじめとするインターネットに関する娯楽が増え、読書に割く時間は減少することが推測されます。
- ・テストや受験勉強の場の提供、職場体験などを通じて図書館とのかかわりを維持し、その後の就職や子育てなどのライフステージにおいて再び本へスムーズに回帰できるよう努めます。

○一週間に何回ぐらい学校図書館に行きますか？



(「子どもの読書活動に関するアンケートの結果」より (令和4年実施))

主な取り組み	内 容
閲覧席を学習スペースとして開放	図書館内の閲覧席を学習スペースとして開放し、図書館とのつながりを維持していきます。
職場体験の積極的な受け入れ	職場体験を積極的に受け入れ、図書だけでなく、図書館自体への関心が持てるよう努めます。

2. 各種団体との協力による読書活動の推進

(1) ボランティア

①子育て支援団体・図書館関係団体

- ・「おはなし会」などの開催における協力体制を継続していきます。
- ・ボランティア団体のおはなし会は、直接子ども達と接しながら読書啓発が行われており、活動を通じた情報交換や情報共有を行う必要があります。
- ・幼保こども園でのボランティア団体のおはなし会は、集団活動の一環としてみんなが楽しめる時間づくりや、みんなで楽しめる時間づくりによる子ども同士の連帯感の醸成が期待できます。
- ・図書館でのボランティア団体のおはなし会は、家庭の延長線上の気楽な雰囲気の中で本に親しむことができ、保護者も含めた読み聞かせの定着が期待できます。

主な取り組み	内 容
ボランティア団体や個人の活動支援	・おはなし会等の活動について広報やホームページ等でPRを行います。 ・現状の把握と今後の取り組みなどについて、各団体や個人と意見交換します。

②企業・関係団体等

- ・雑誌スポンサー制度の啓発により、子ども雑誌の充実を図ります。
- ・寄附や寄贈の啓発を行い、児童図書や備品の充実を図ります。
- ・飲食店などの個人店へは、お店に関係する本を置いてもらうなど、日常使いとして本を手にする機会創出を推進します。

主な取り組み	内 容
雑誌スポンサーの啓発	広報やホームページでのPR及びイベント時に制度啓発に関するチラシを配布します。
寄附の啓発	広報やホームページでのPR及びイベント時に制度啓発に関するチラシを配布します。
まちかど図書館の設置	飲食店などへ図書を配置し、家族で食事を待つ間などに読み聞かせができる環境づくりに努めます。

③行政関係機関

- ・各部署の子どもとかかわる事業やイベントを通じて、出張図書館などによる連携を推進します。

主な取り組み	内 容
イベント等への参加	関係部署との情報連携を行い、イベントや事業での出張図書館の設置や、おはなし会などを行います。
各事業での情報収集	各事業等での子どもや保護者の動向などについて、担当部署との情報交換及び情報収集を行います。

子どもの読書活動に関するアンケートの結果

【調査目的】 第三次計画策定に向け、子ども達の読書に関する実態を把握するために実施

【対象】 小学5年生、中学2年生、高校2年生、未就学児の保護者

【期間】 令和4年7月～8月

回収結果

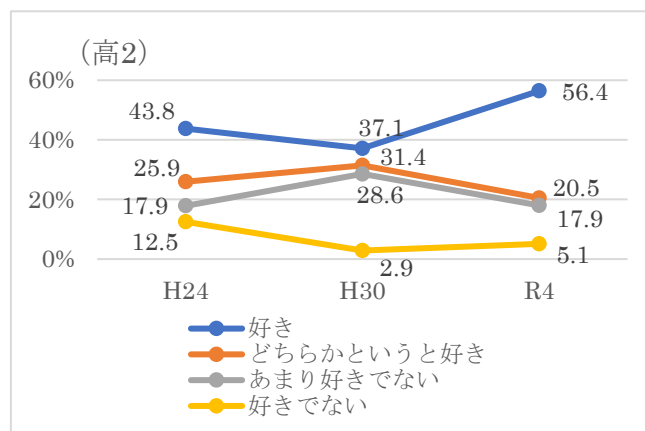
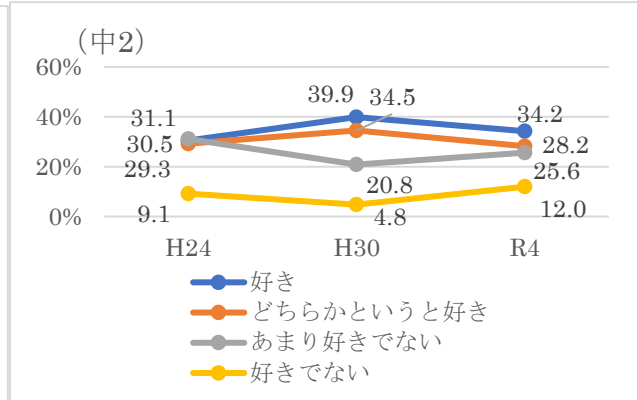
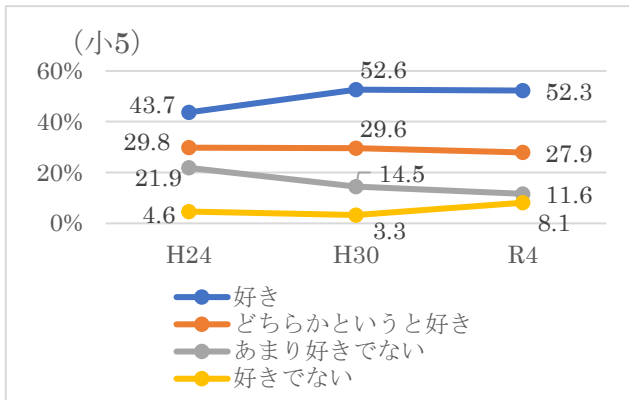
	配布枚数（枚）	回収枚数（枚）	回収率（％）
小学5年生	137	89	65.0
中学2年生	185	120	64.9
高校2年生	202	39	19.3
合計	524	248	47.3

	配布枚数（枚）	回収枚数（枚）	回収率（％）
未就園児保護者	106	69	65.1%
幼保こども園5歳児の保護者	159	100	62.9%
小学5年生の保護者	137	89	65.0%
中学2年生の保護者	185	121	65.4%
高校2年生の保護者	202	39	19.3%
合計	789	418	53.0%

※高校生及びその保護者については回収率が19.3%であったため参考に留める

◎児童、生徒の回答

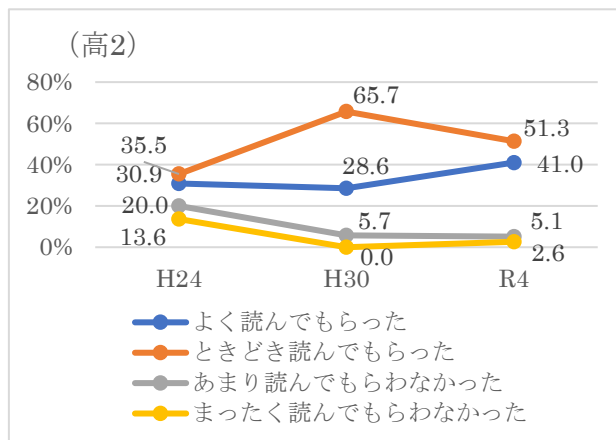
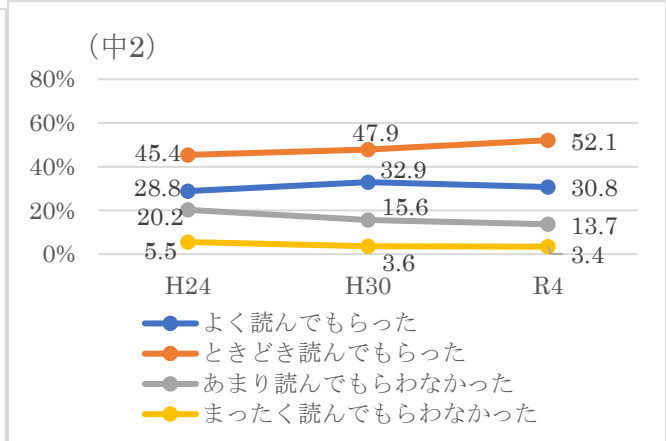
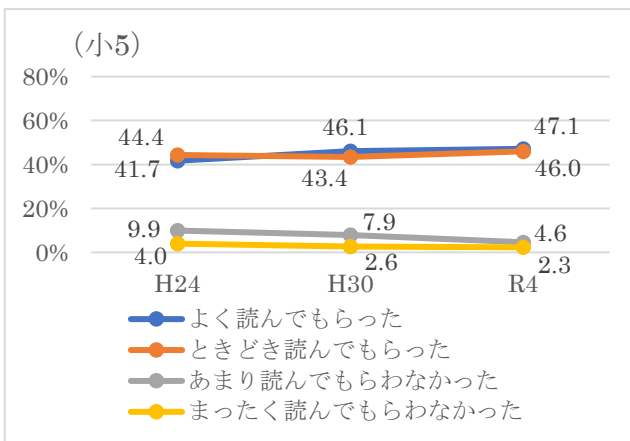
○本を読むことが好きですか？



【結果】

- ・小5、中2の「好き」と「どちらかというが好き」の割合が小幅に減少している
- ・どの学年も「好きでない」の割合が増加している

○小学校に入る前や小学校低学年の頃、家の人から本を読んでもらったことがありますか？

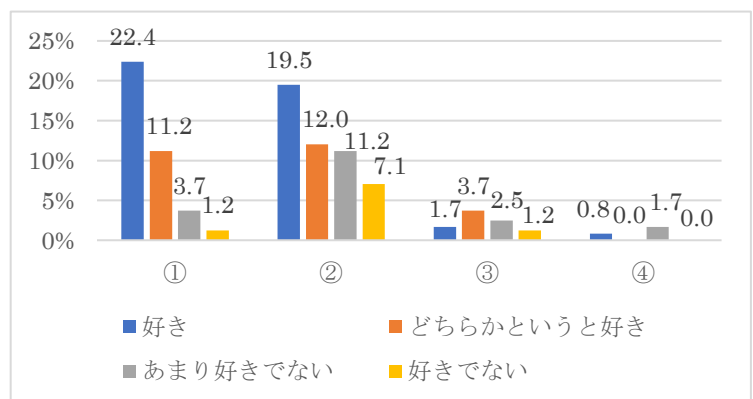


【結果】

- ・家庭での読み聞かせの実施が浸透している
- ・平成30年度と比較して、現在の小学生の読み聞かせの実施率が上がっている

(分析) 読み聞かせ頻度による本を好む割合

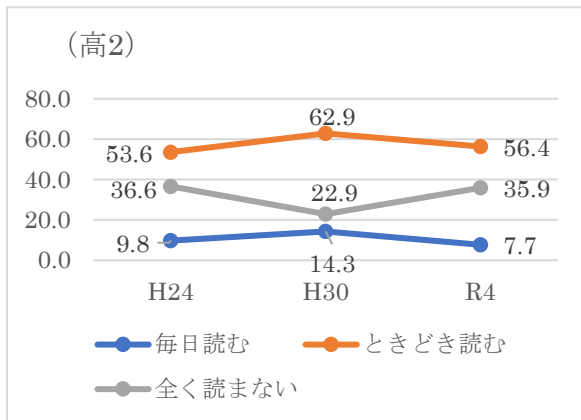
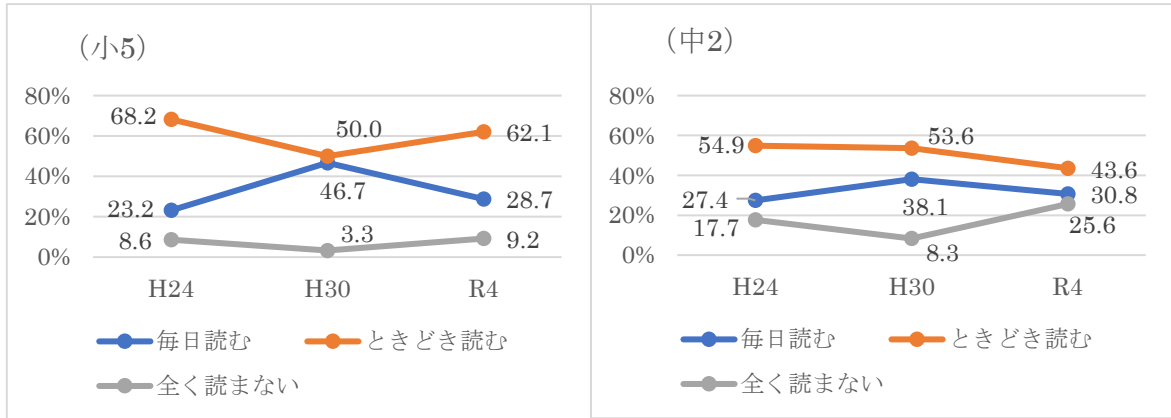
- ①よく読んでもらった
- ②ときどき読んでもらった
- ③あまり読んでもらわなかった
- ④まったく読んでもらわなかった



【結果】

- ・②が多く、次いで①となっている

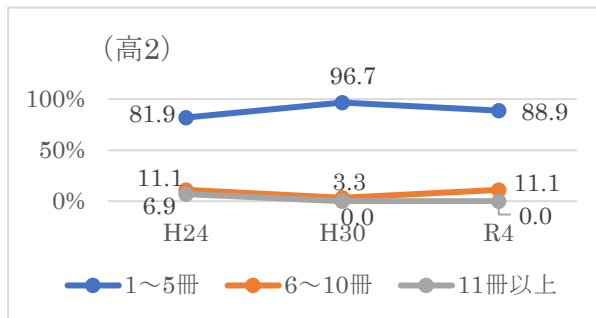
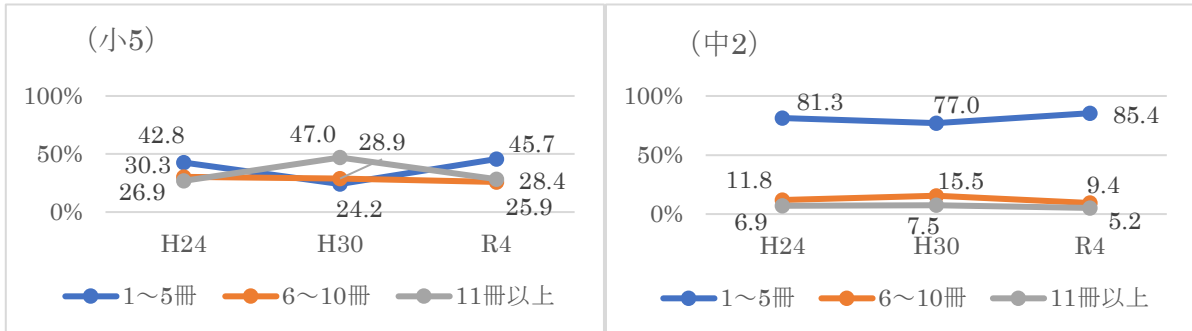
○家や学校などで、どれくらい本を読みますか？



【結果】

- ・どの学年も「毎日読む」が減少している
- ・どの学年も「全く読まない」が増加している

○1カ月に読む本の冊数

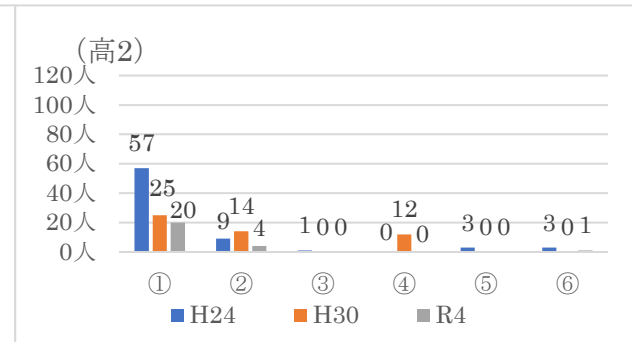
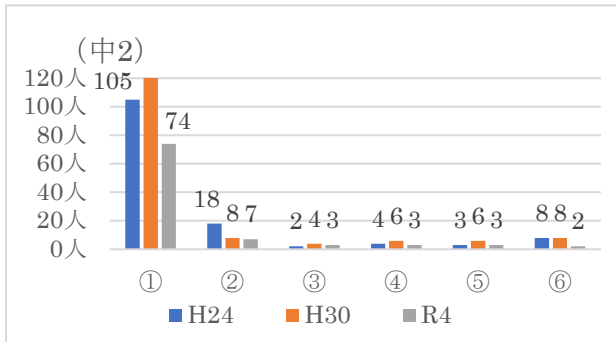
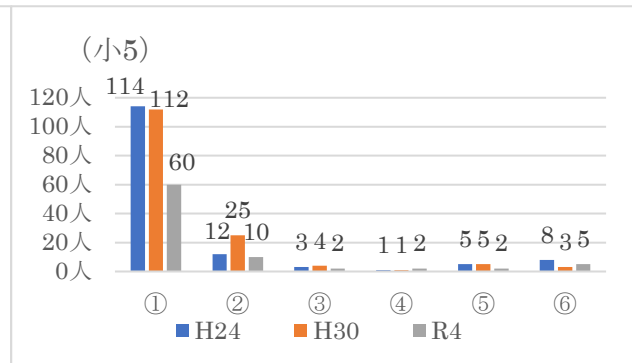
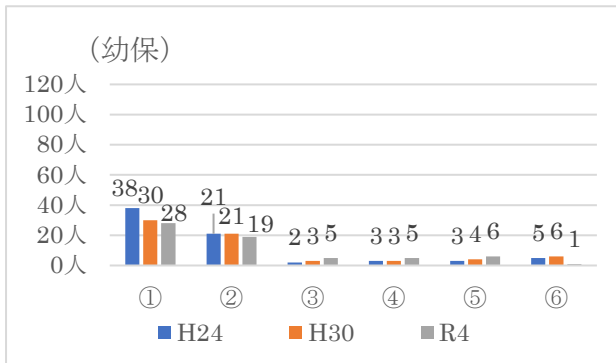
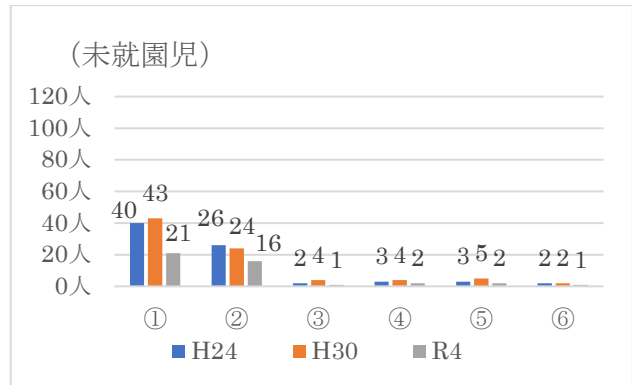


【結果】

- ・どの学年も「11冊以上」が0または減少している
- ・小5、中2は「6～10冊」も減少している

○あなたが、本を読む理由は？

- ①おもしろい、楽しいから
- ②自分のためになるから
- ③友だちが読むから
- ④家の人や先生にすすめられるから
- ⑤調べものをするため

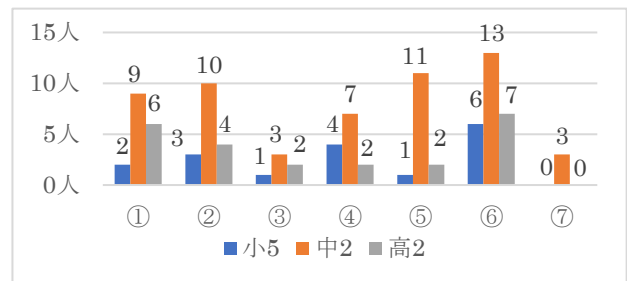


【結果】

・どの年代も①が最多となっている

○本を読まない理由

- ①勉強や習いごと、スポーツ活動などが忙しい
- ②テレビを見たりゲームをしていて時間がない
- ③友達と遊んで時間がない
- ④どんな本を読んだらいいのかわからない
- ⑤読みたい本が近くにない
- ⑥本を読みたいと思わない
- ⑦その他

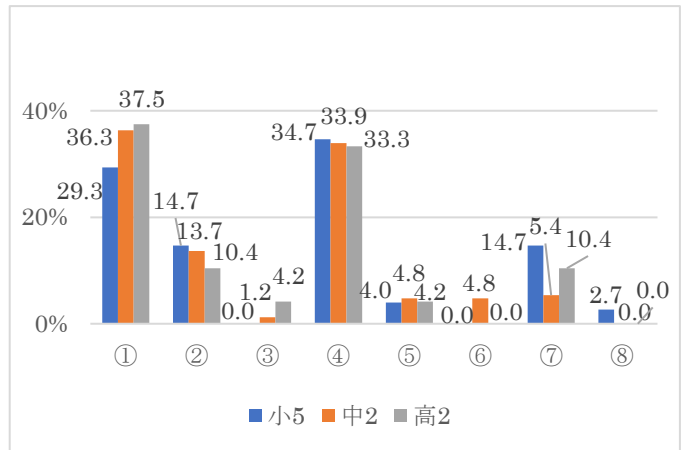


【結果】

・⑥が多くなっている

○読みたい本はどのように手に入れますか？

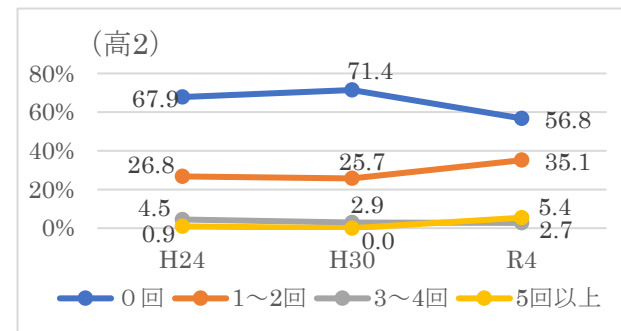
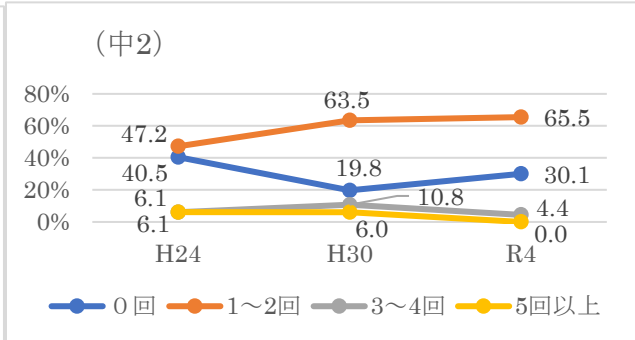
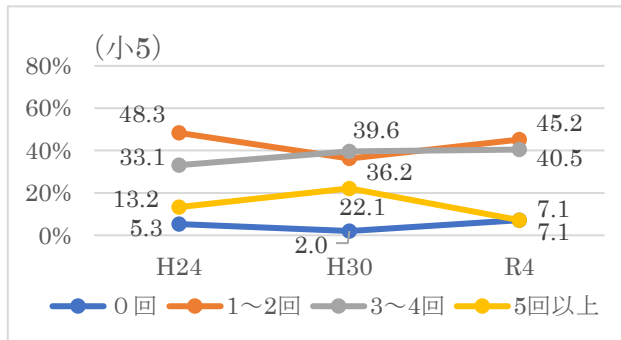
- ①書店で買う
- ②市立図書館・公民館図書室で借りる
- ③PC、携帯電話等でダウンロードする
- ④学校の図書館で借りる
- ⑤インターネットで買う
- ⑥友だちから借りる
- ⑦家にある本を読む
- ⑧その他



【結果】

- ・①や④が多くなっている
- ・②は少なくなっている

○一週間に何回ぐらい学校図書館に行きますか？

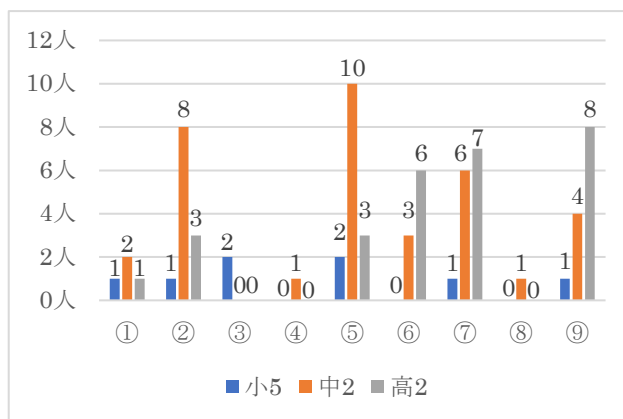


【結果】

- ・小5の「5回以上」が大きく減少している
- ・中2の「5回以上が減少」し、「0回」が増加している

○学校図書館を利用しない理由

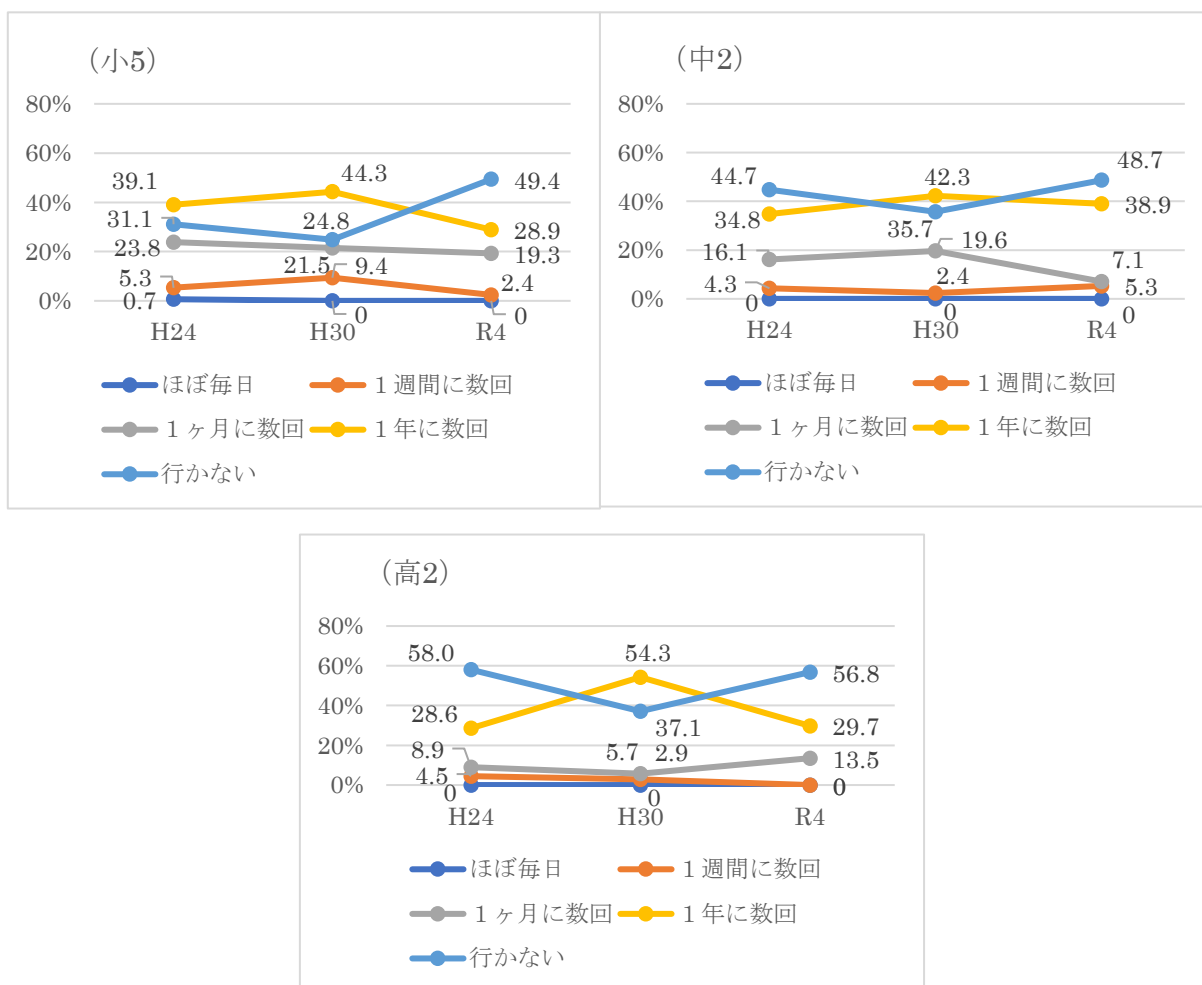
- ①本を読みたくないから
- ②読みたい本がないから
- ③新しい本がないから
- ④どんな本を読んだらいいかわからないから
- ⑤ほかの遊びがしたいから
- ⑥部活動や係の仕事があるから
- ⑦本を借りるのがめんどうだから
- ⑧行きたい時間に図書館が開いていないから
- ⑨その他



【結果】

- ・中2の⑤が多くなっている

○あなたは市立図書館や公民館図書室に行きますか？

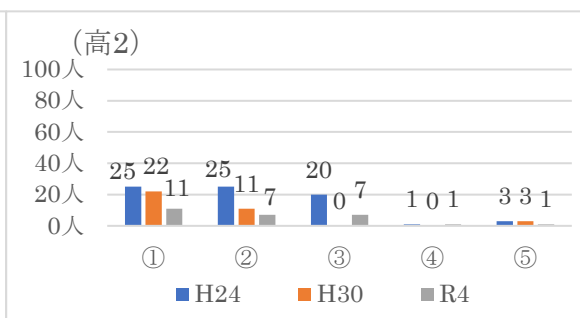
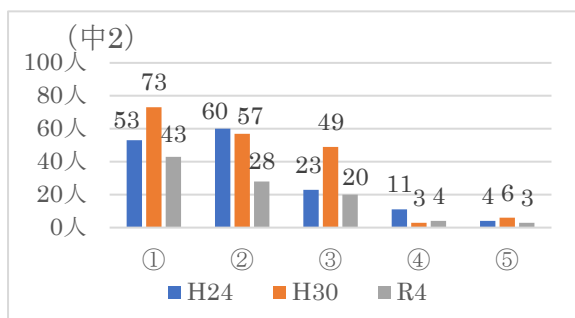
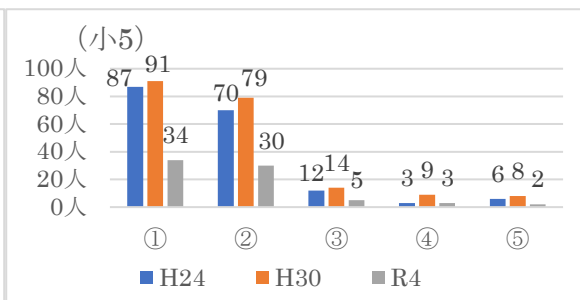
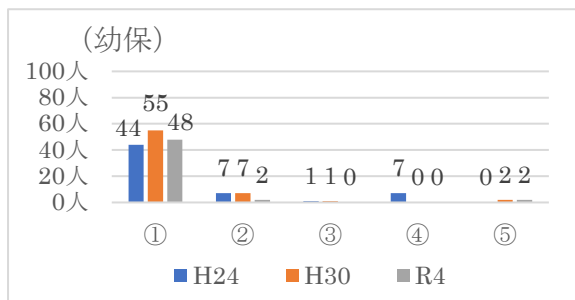
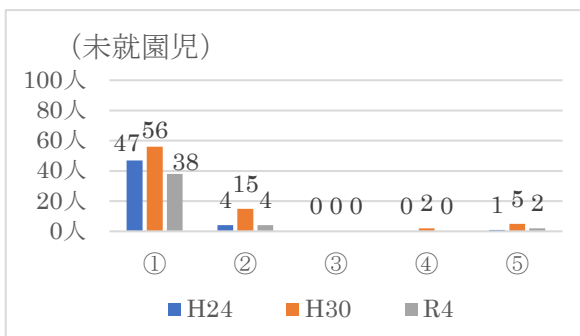


【結果】

- ・どの学年も「行かない」が大きく増えている

○市立図書館や公民館図書室へ行く理由はなんですか？（2つまで）

- ①本を借りる・返すため
- ②本を読んだり、調べものをするため
- ③勉強をするため
- ④おはなし会やイベントに参加するため
- ⑤その他

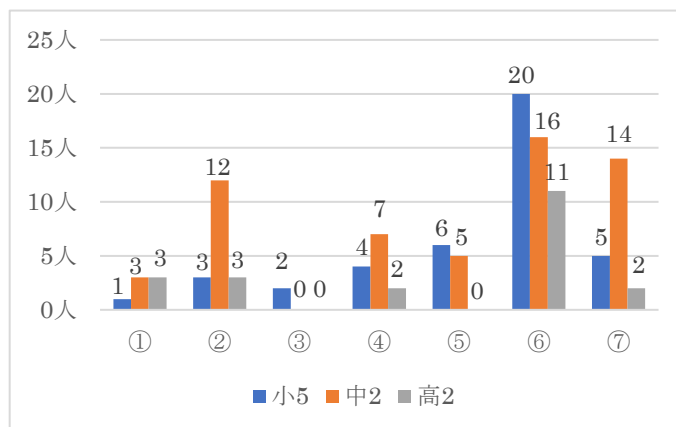


【結果】

・どの年代も①が多くなっている

○市立図書館や公民館図書室に行かない理由

- ①本を読みたくないから
- ②読みたい本がないから
- ③新しい本がないから
- ④読みたい本は買うから
- ⑤行く方法がないから
- ⑥行く時間がないから
- ⑦その他

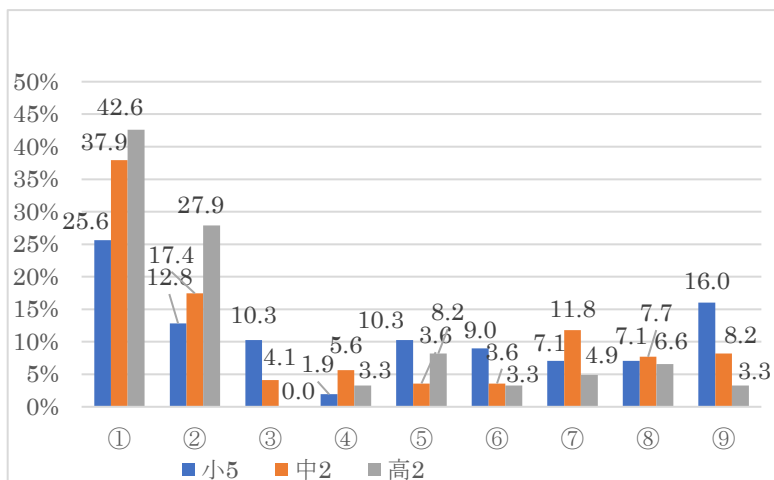


【結果】

・⑥が多くなっている

○学校の図書館にどんな本がほしいですか？

- ①小説、物語
- ②ノンフィクション
(実際にあった話)
- ③歴史、地理、伝記
- ④理科、数学
- ⑤料理、手芸
- ⑥美術、音楽
- ⑦スポーツ
- ⑧調べものに使う本
- ⑨その他

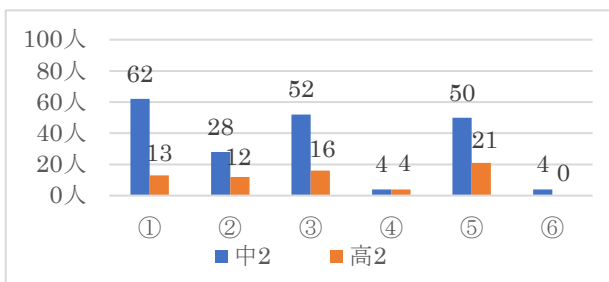


【結果】

・①や②が多くなっている

○図書館に「中高生向けコーナー」があったら、どんなところだと利用したいと思いますか？

- ①中高生向け図書や雑誌が充実している
- ②進学や就職情報が充実している
- ③インターネットが活用できる
- ④展示やイベントができる
- ⑤学習ができる
- ⑥その他

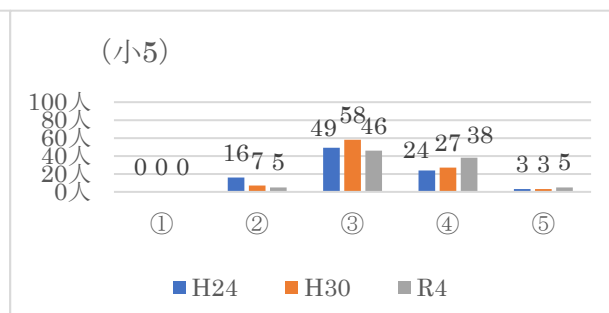
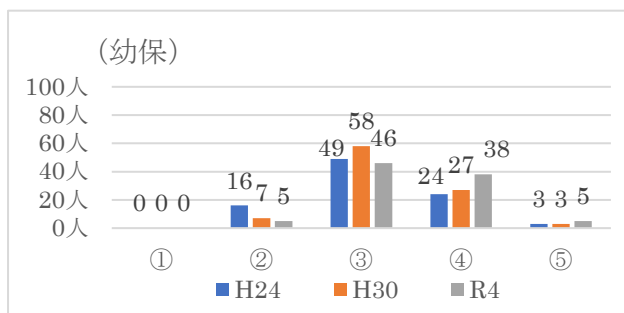
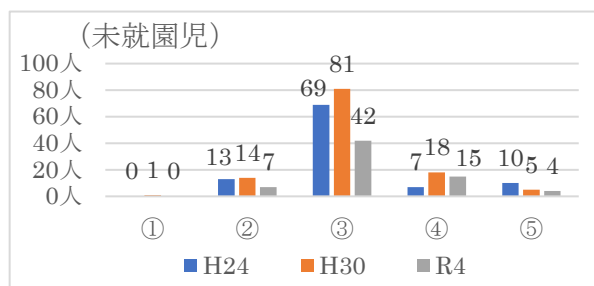


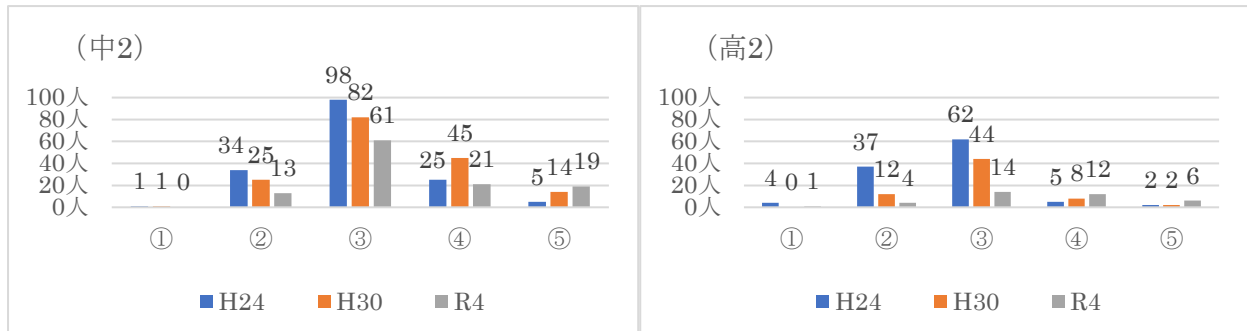
【結果】

・①が多くなっている

○あなたは書店にいきますか？

- ①ほぼ毎日
- ②1週間に数回
- ③1カ月に数回
- ④1年に数回
- ⑤行かない

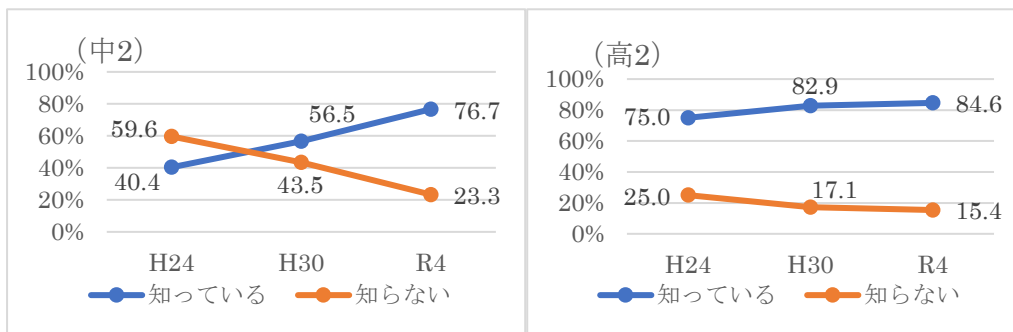




【結果】

- ・③が多くなっている

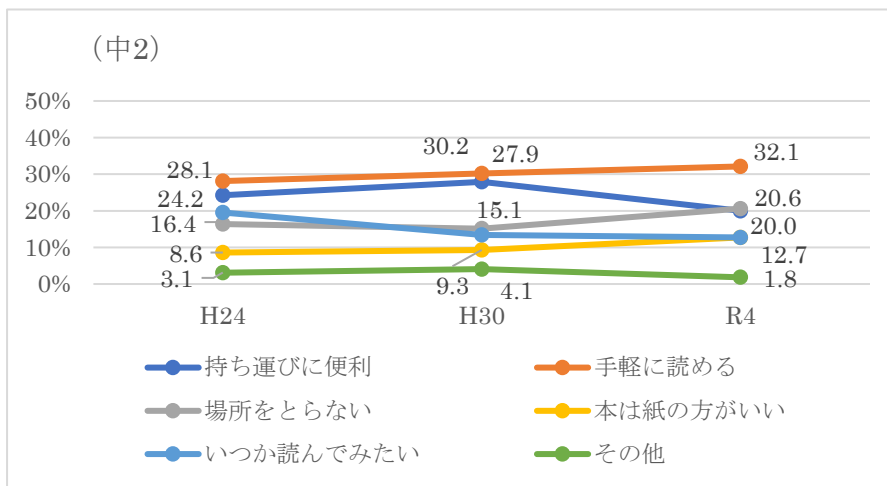
○電子書籍を知っていますか？



【結果】

- ・「知っている」が増加している

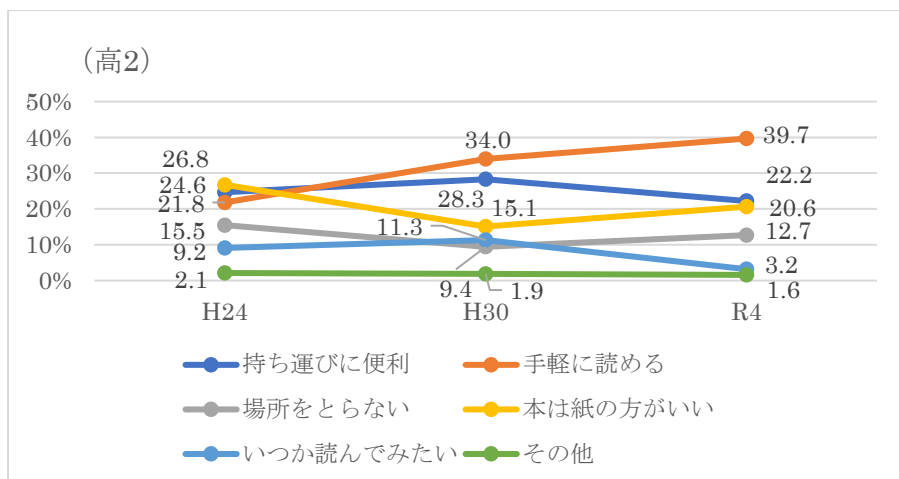
○電子書籍についてどのように思いますか？



【結果】

- ・「手軽に読める」が最多で増加している
- ・「本は紙の方がいい」が増加している

○電子書籍についてどのように思いますか？

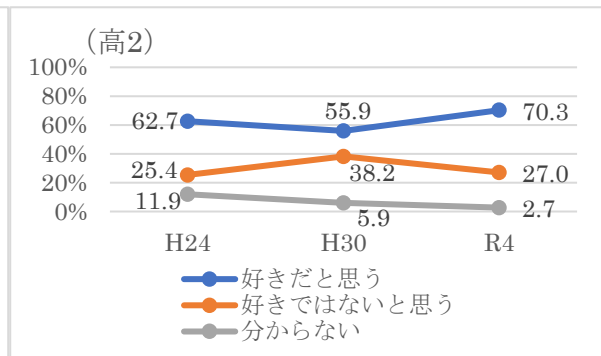
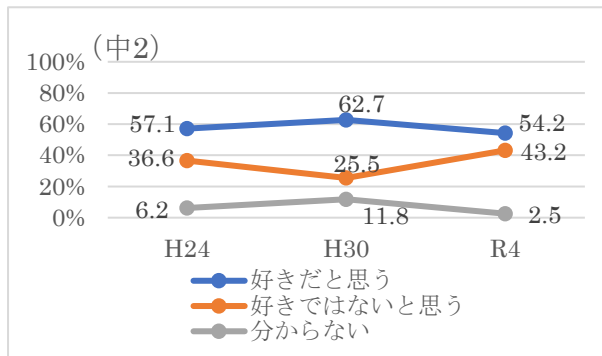
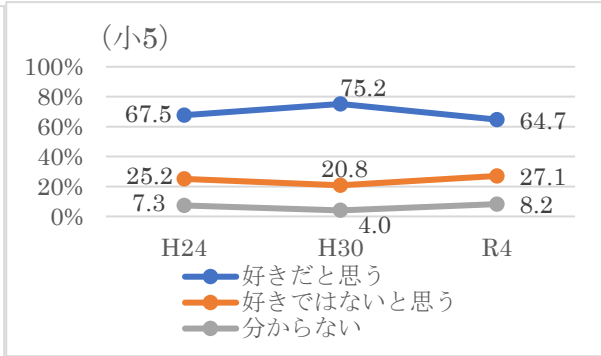
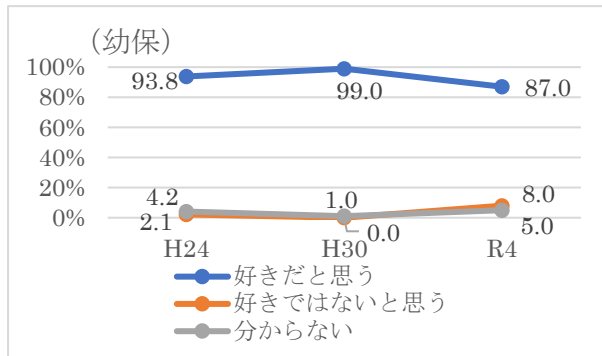


【結果】

- ・「手軽に読める」が最多で増加している
- ・「本は紙の方がいい」が増加している

◎保護者の回答

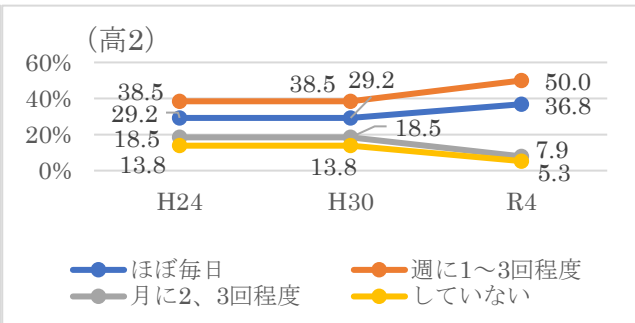
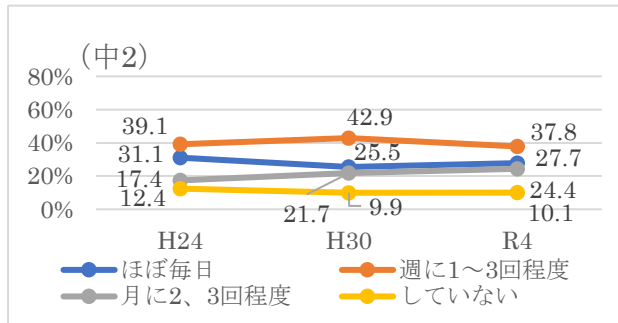
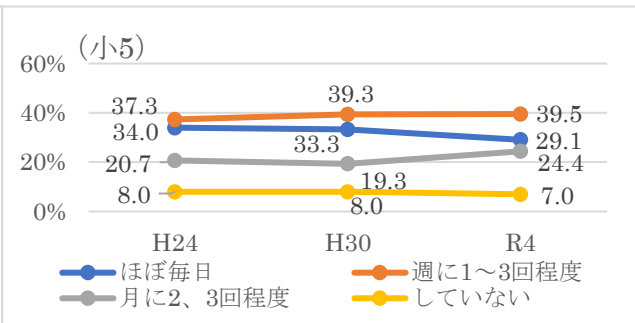
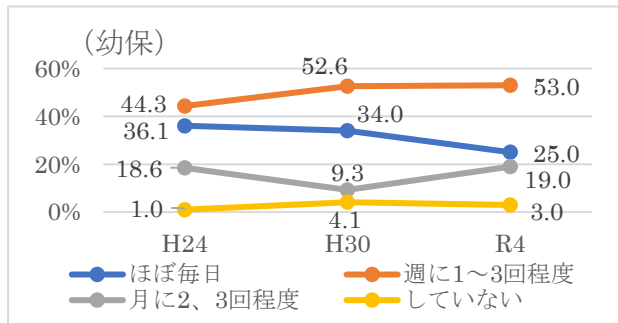
○お子さんは、本が好きだと思いますか？



【結果】

- ・幼保、小5、中2の「好きだと思う」は減少している

○お子さんに絵本や物語の読み聞かせをしていますか（していましたか）？

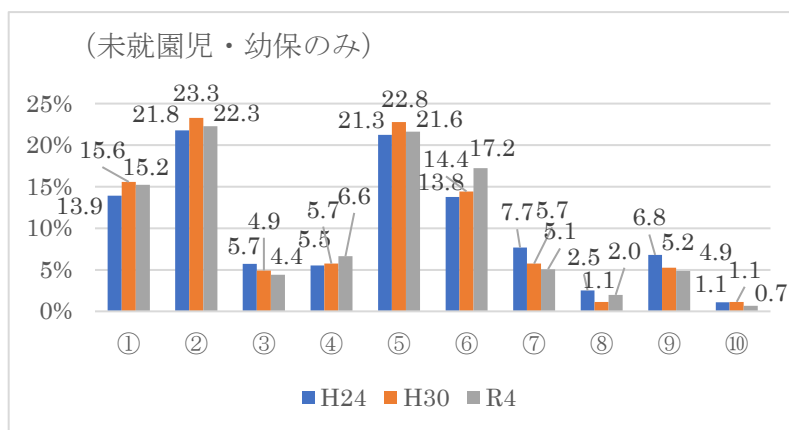


【結果】

- ・幼保、小5の「ほぼ毎日」が減少している

○読み聞かせをする理由を選んでください

- ①親子の絆・愛情が深まる
- ②親子で絵本を楽しめる
- ③親子の思い出になる
- ④子どもが落ち着く
- ⑤子どもの感性が育つ
- ⑥言葉の発達に役立つ
- ⑦人の話が聞ける子になる
- ⑧親もリラックスできる
- ⑨親も本に親しめる
- ⑩その他

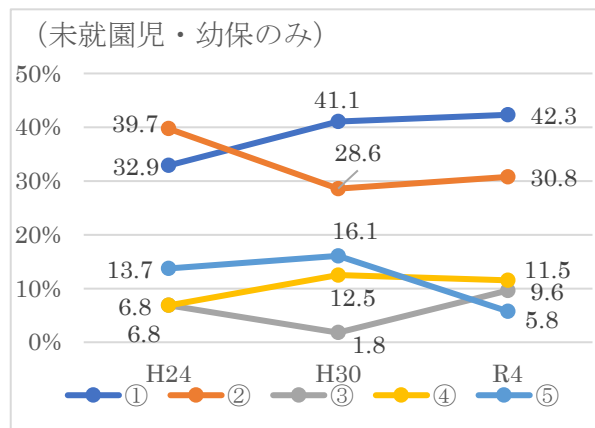


【結果】

- ・②と⑤が多くなっている

○読み聞かせをしない理由を教えてください

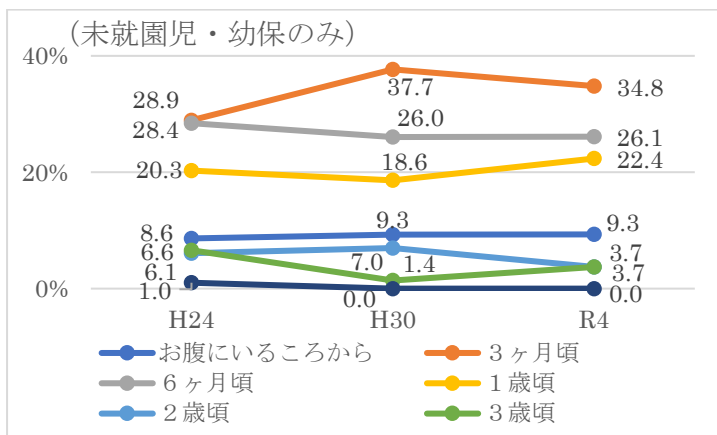
- ①読み聞かせをする時間がないから
- ②子どもが読み聞かせをせがまないから
- ③どんな本を読み聞かせしたらいいかわからないから
- ④読み聞かせする本が家がないから
- ⑤その他



【結果】

- ・①②③が増加している

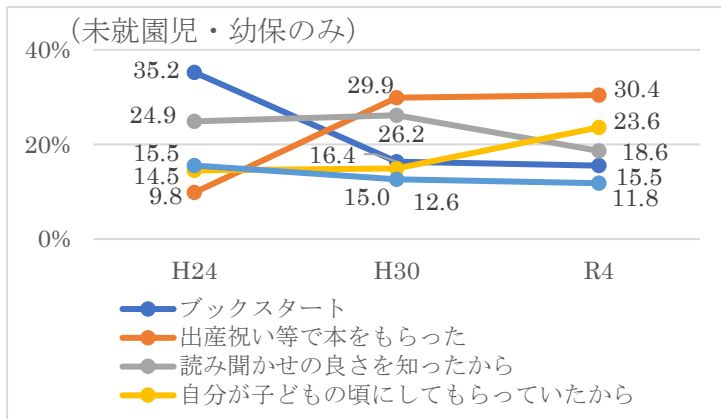
○お子さんにいつ頃から読み聞かせを始めましたか？



【結果】

- ・「3ヶ月頃」が多くなっている

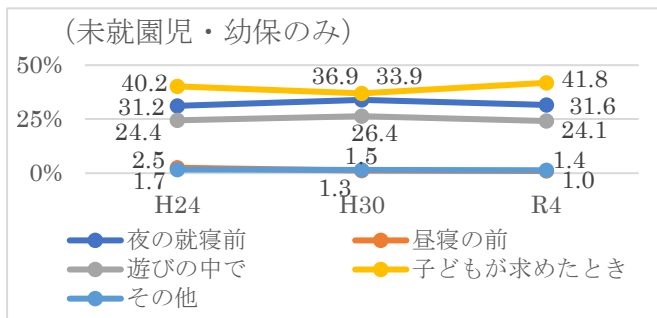
○読み聞かせを始めたきっかけは何ですか？



【結果】

- ・「出産祝い等で本をもらった」が多くなっている

○どんな時に読み聞かせをしていますか？

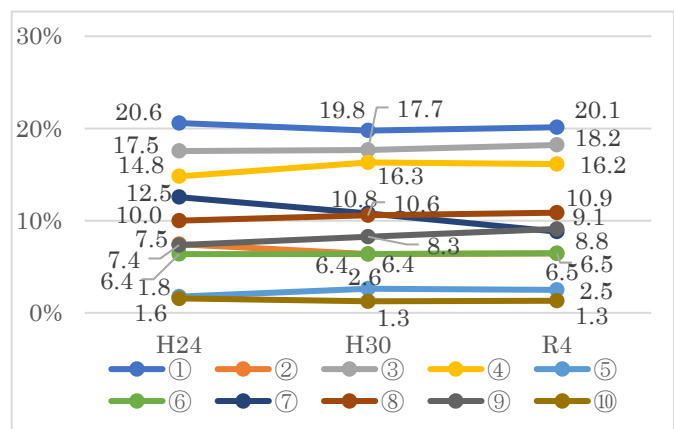


【結果】

- ・「子どもが求めたとき」が多くなっている

○子どもの読書をすすめるために必要なこと（家庭では）※小5・中2・高2のみ

- ①絵本や物語の読み聞かせをする
- ②子どもが本を読んだらほめる
- ③子どもが読んだ本を話題にする
- ④図書館などに連れて行く
- ⑤お話し会や読み聞かせ会に連れて行く
- ⑥家に本をそろえる
- ⑦自分が読書をする姿を見せる
- ⑧家庭で読書の時間をつくる
- ⑨テレビをみない日、ゲームをしない日をつくる
- ⑩その他

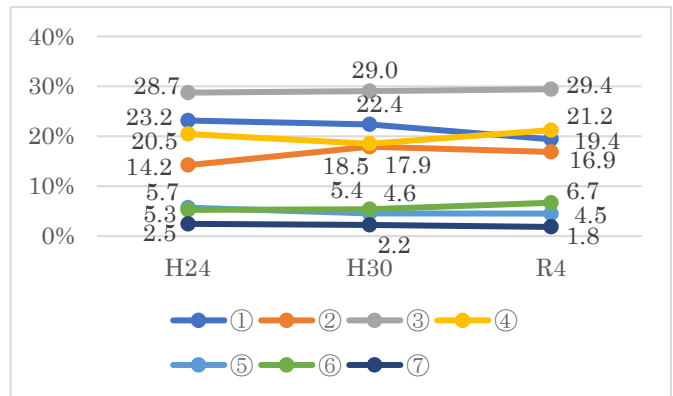


【結果】

- ・⑦が減少している
- ・⑦以外はほぼ横ばいとなっている

○子どもの読書をすすめるために必要なこと（学校では）※小5・中2・高2のみ

- ①教員による本の紹介
- ②学校図書館司書による読み聞かせ
- ③「調べ学習」など図書館を使った学習の充実
- ④学校図書館の図書や情報機器の充実
- ⑤学校図書館でのボランティアの受け入れ
- ⑥学校図書館に専任職員の配置
- ⑦その他

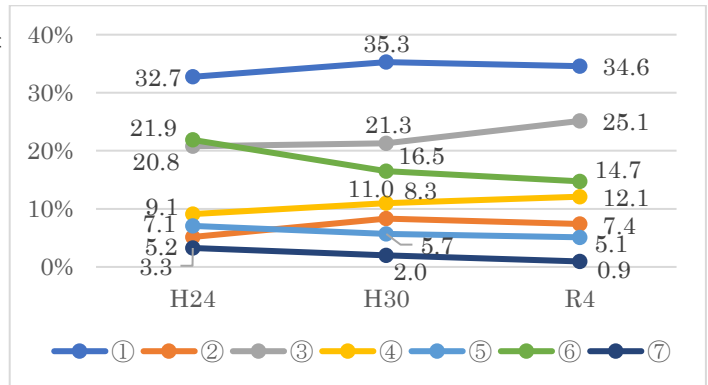


【結果】

- ・③④⑥が増加している

○子どもの読書をすすめるために必要なこと（地域では）※小5・中2・高2のみ

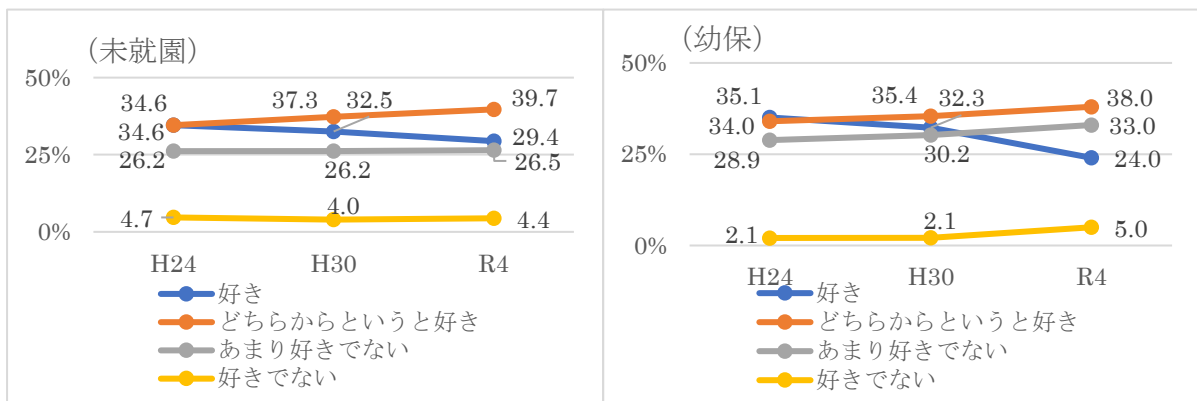
- ①市の図書館や公民館図書室における児童書コーナーや児童書の充実
- ②図書館職員の充実
- ③読み聞かせ会など催し物の実施・充実
- ④ブックスタート活動などはたらきかけ
- ⑤ボランティアや指導者などの養成・協力
- ⑥読書に関する広報活動の充実
- ⑦その他

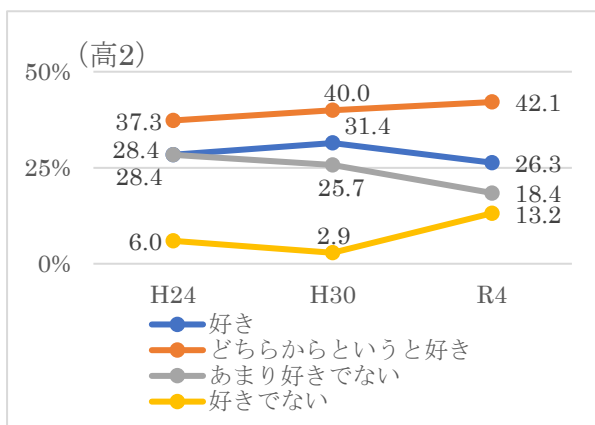
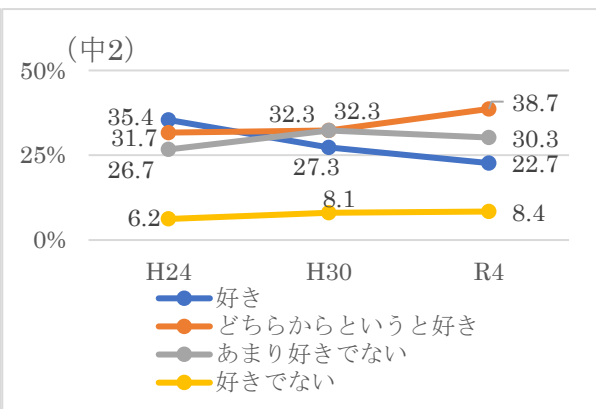
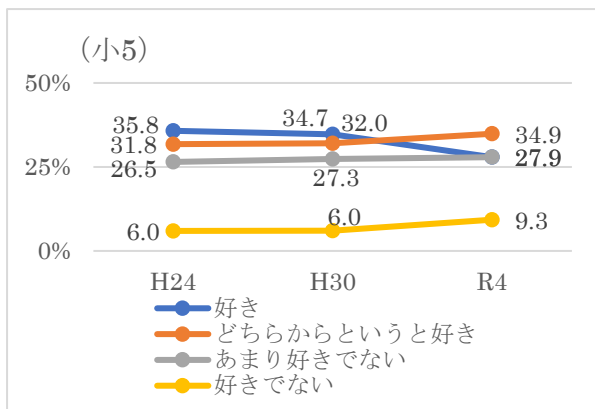


【結果】

- ・③と④が増加している

○あなたは本を読むことが好きですか？

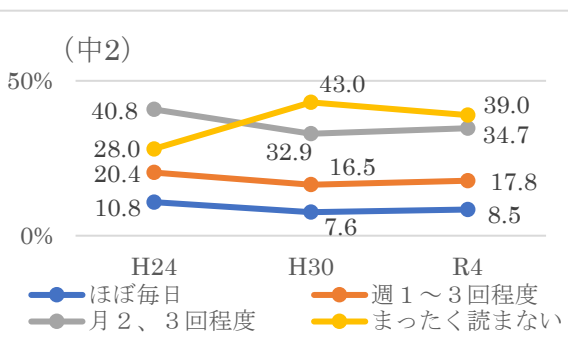
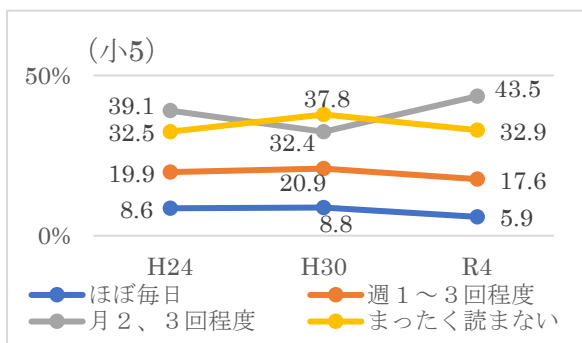
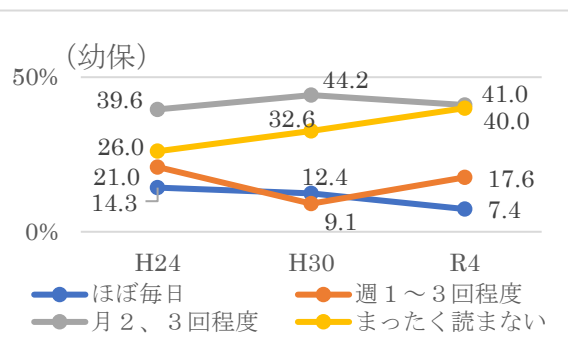
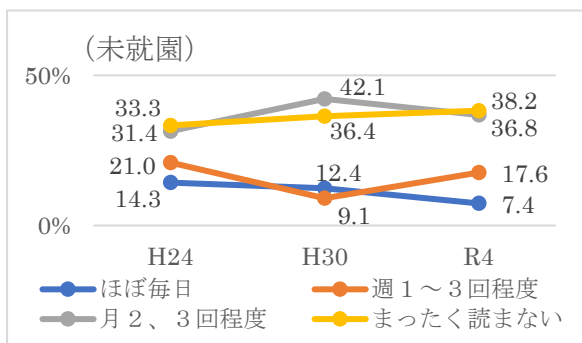


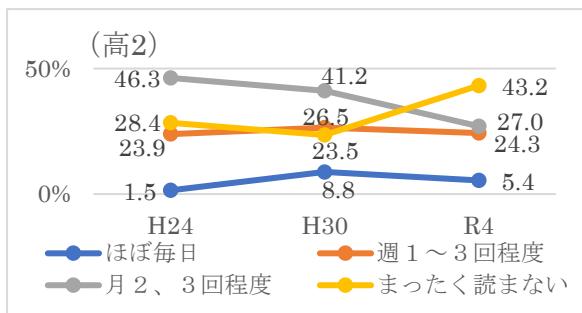


【結果】

- ・どの学年も「好き」が減少している
- ・どの学年も「好きでない」が増加している

○どのくらい本を読みますか？（頻度）

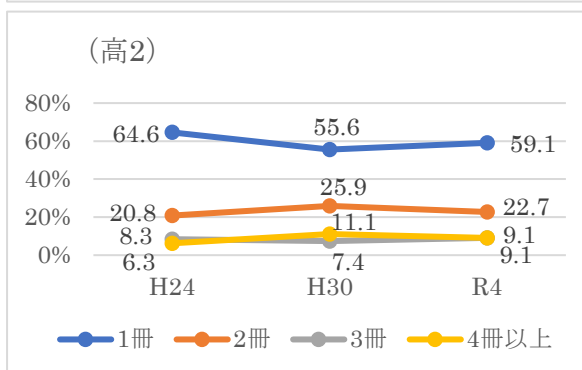
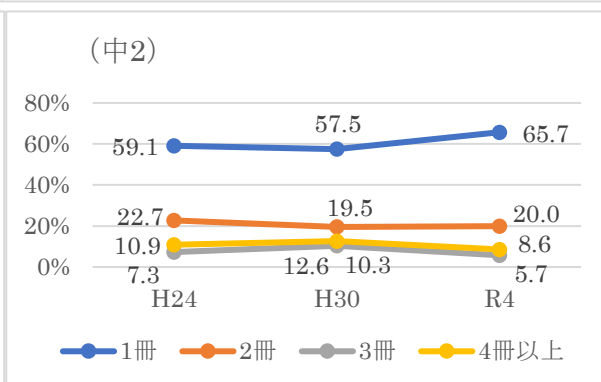
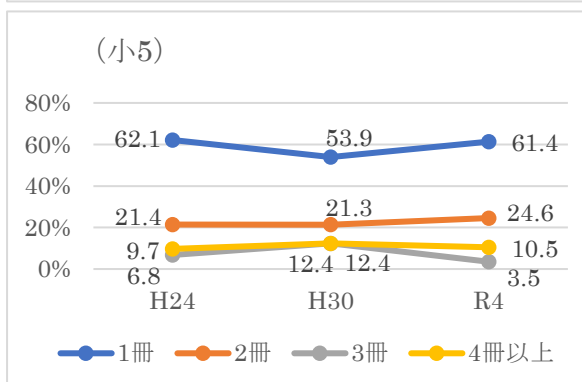
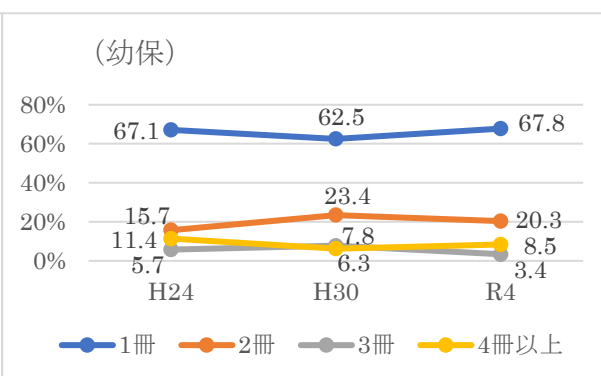
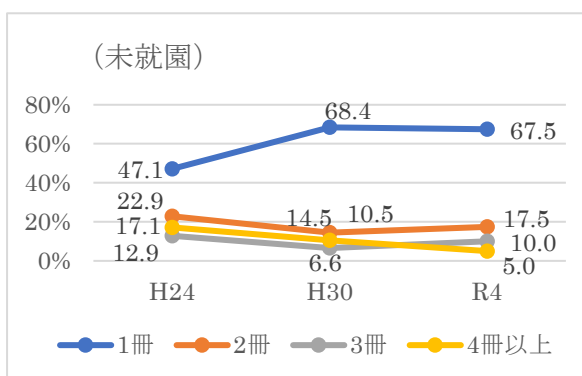




【結果】

- ・未就園、幼保、高2の「まったく読まない」が増加している

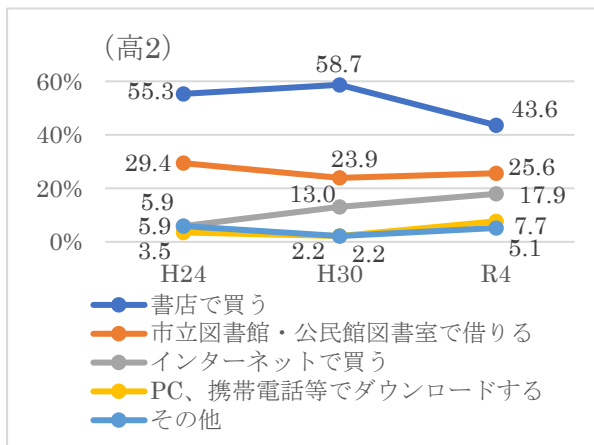
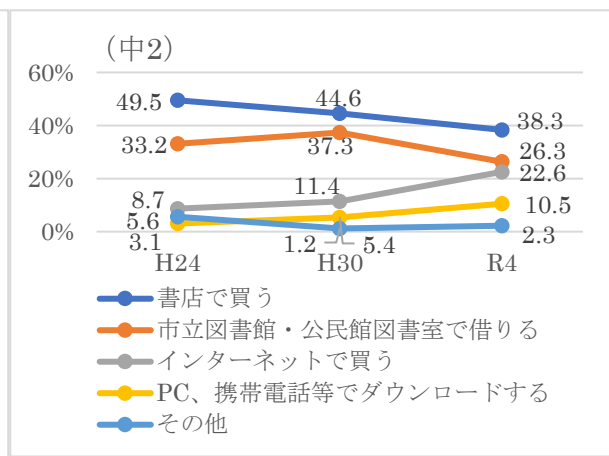
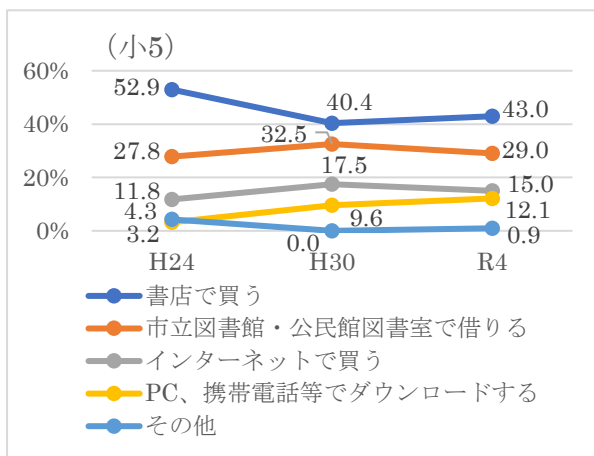
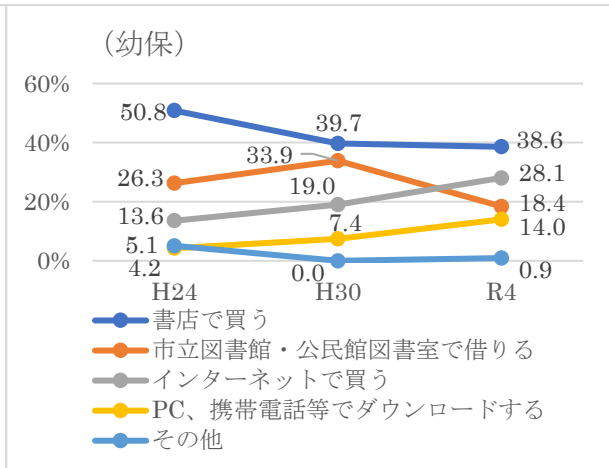
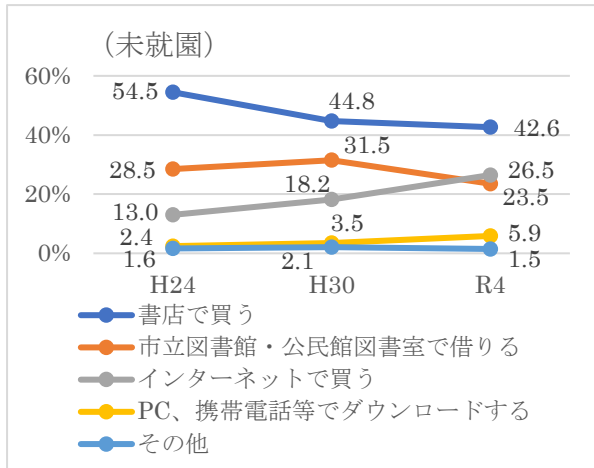
○1ヶ月にどのくらい本を読みますか？（冊数）



【結果】

- ・未就園以外は「1冊」が増加している

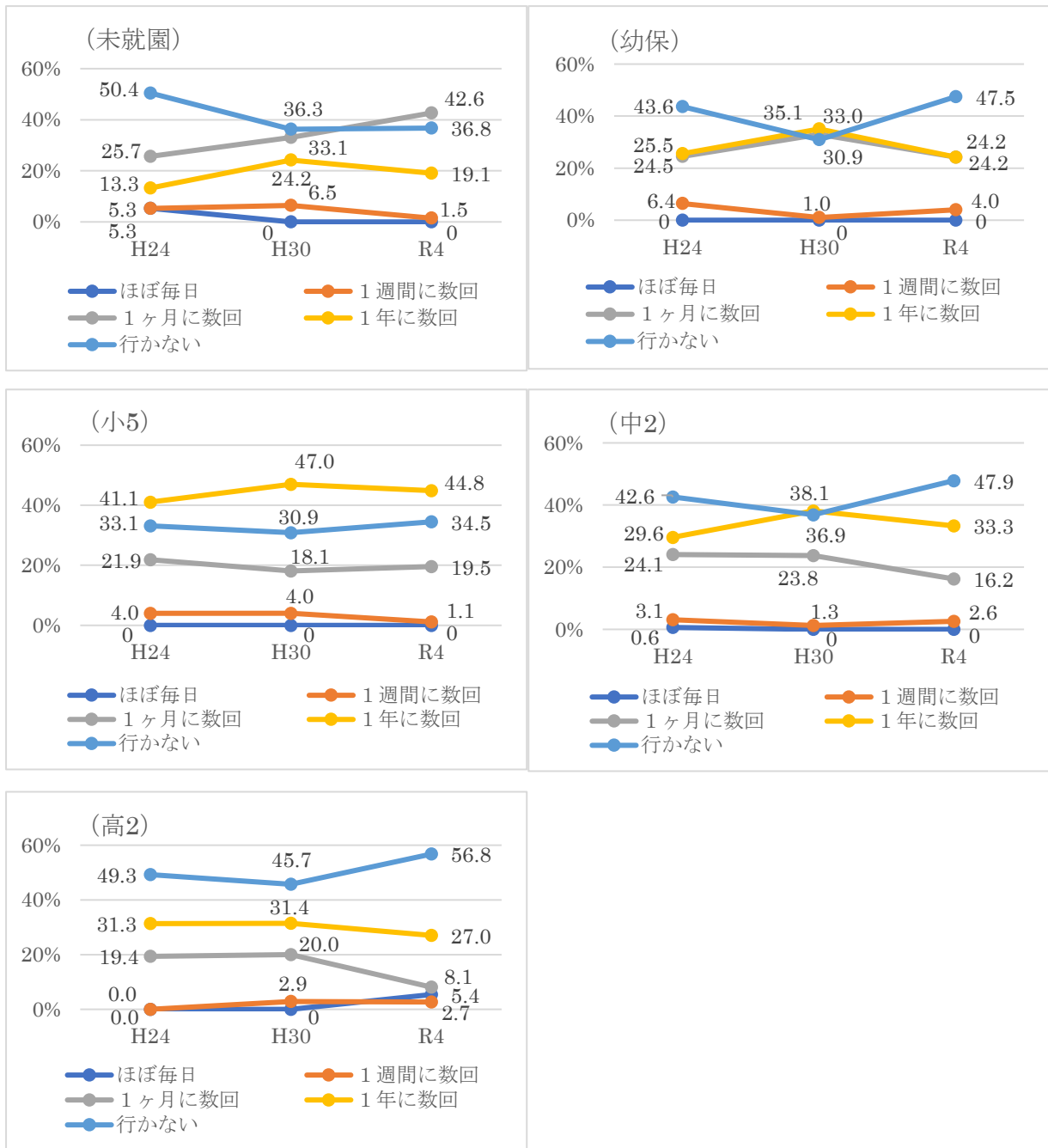
○読みたい本は、どのように手に入れますか？



【結果】

- ・未就園、幼保、中2、高2の「書店で買う」が減少している
- ・未就園、幼保、中2、高2の「インターネットで買う」が増加している
- ・どの年代も「PC、携帯電話等でダウンロードする」が増加している

○あなたは市立図書館や公民館図書室に行きますか？



【結果】

- ・どの年代も「行かない」が増加している

第三次中津川市子ども読書活動推進計画策定委員

	氏名	職名等	備考
1	遠山 京子	付知北小学校長	
2	加藤 美佐子	神坂幼稚園長	
3	水野 奏	大学生	
4	桑澤 芳江	中津川市読書サークル連絡協議会長	
5	鈴木 佑将	中津川青年会議所副理事長	
6	松原 槇子	図書館くらぶ会長	
7	田中 孝一	あぶくたったの会代表	
8	小倉 尚美	すいーとぽてと代表	
9	池田 ひでみ	中京学院大学教授	
10	近藤 信幸	元中津川市立図書館長	
11	吉村 伸広	文化スポーツ部次長	委員長
12	青木 美伸	中津川市立図書館長	副委員長

事務局（中津川市立図書館）

1	原 美佐子	館長補佐兼読書推進係長	
2	加藤 大直	主任主査	